
甘い果実

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

甘い果実

【コード】

N5488C

【作者名】

蒼

【あらすじ】

全てが薄っぺらな世界。そんな世界を見つめてあたしが最後に選んだものは？

(前書き)

なんか突発的に思いついた話なので意味が分からないかもしれませんが、暇な方などになんとなく読んで頂けたら嬉しいです。

色が無い。

上べだけの世界。

薄っぺらな人間関係。

何もかもなくなつて消えちゃえば良いのに。

人に合わせて上べだけで笑つてるやつ。

死ねば良いのに。

人をちゃんと見てない大人、教師。

そいつらもみんなみんな消えちゃえ。

*

*

*

学校の殺風景な屋上から見える空を見つめて溜め息をつく。どんよりとした曇り空。いまにも雨が溢れて来そうなほど重いし暗い。

なんかあたしの今の気持ちに似てる気がする。

黒々と私の中で渦巻く汚いあたしの心に。

先週転校して来た私にはまだ友達がい無い。それはあたしの性格も関係していて、一週間くらいたつて私の性格を大分知ったクラスの奴らはもうあたしには近付かないし、あたしも近付かない。最初だけ好い人面していた奴も二日で根を上げた。ザマア三口。

あたしになんか構うな。そう私は心の中で呟く。

教師は浮いたあたしをクラスに馴染ませようと馬鹿みたくあたしに構うし、親もしつこく学校のことを聞く。それもどうせ上べだけ。

本当は世間の目を気にして、動物園の飼育員みたく私達の監視をして子供のご機嫌とりをしてるだけ。見てると本当、滑稽で仕方ない。本当無様。

私は小さく笑った。

本当世界って滑稽。とつても無様に見える。

どうせならこんな世界無くなってしまえ。

滑稽で醜いこんな無駄ばかりの世界、あるだけで無駄だ。

そうか。

私はひとり小さく呟く。

ならこんな世界に止まっているのも無駄じゃない？

だったら。

あたしは今心の中に浮かんだ甘い甘い、誘惑という、誰もが持っている果実に手を伸ばした。

安全のために屋上に設置されている古びて錆び付いた手摺に足をかけてゆっくりとまたぐ。

もう少し。

もう少しで手が届く。

手摺の向こう側に立ったあたしは一度周りを見渡した。ひとつの思い出も執着もない街並。それを見てまた笑う。鳥の様に腕を広げてみる。

そして、

『 バイバイ。 』

甘
あ
い
甘
い
果
実
を
私
は
搦
み
と
っ
た
。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5488c/>

甘い果実

2011年1月27日13時00分発行